



Shimabara 2007

CITIES ON VOLCANOES 5

NEWS RELEASE

火山都市国際会議 島原大会 事務局

〒855-0879 長崎県島原市平成町 1-1

雲仙岳災害記念館(がまだすドーム)内

TEL:0957-65-5540 FAX:0957-65-5542

MAIL:cov5@city.shimabara.nagasaki.jp

URL:<http://www.citiesonvolcanoes5.com/>

2006 年(平成 18 年)5 月 12 日

火山都市国際会議キャラバン隊が出発します

概 要

吉岡・島原市長ら火山都市国際会議島原大会実行委員会の一行が、5 月 13～14 日に三宅島で開かれる「火山市民ネットフォーラム」に参加し、三宅島や北海道・有珠山の住民や行政関係者等との交流を深めるとともに、火山都市国際会議への参加を呼びかける PR 活動を行います。

火山都市国際会議島原大会キャラバン隊

実行委員会顧問 吉岡庭二郎 島原市長

実行委員 大町 辰朗 NPO 法人・島原普賢会理事長

事務局長 杉本 伸一

- 三宅島は 2000 年 6 月に噴火活動を開始し、大きく陥没した雄山火口から噴出する大量の亜硫酸ガスが放出されました。そのため、2005 年 2 月までの 4 年 5 ヶ月もの間、全島民(約 3800 人)が本土へ避難を余儀なくされていました。
- 三宅島では、火山研究・監視体制・無人化工法・ボランティア組織による救援活動など、雲仙・普賢岳災害で培われたハードやソフトが多く生かされましたが、長期にわたる都内での分散した避難生活などにより新たな問題も生じました。
- 火山都市国際会議は火山学だけではなく、様々な分野の研究者や行政関係者、防災関係者が火山活動の社会に与える影響について議論する会議であり、危機管理、都市計画、社会学、心理学、教育なども含んだ連携作業を行うことにより、火山災害の軽減を目指し、火山と共生する都市(まち)作りを模索するのが目的となっています。
- 吉岡・島原市長をはじめとする一行は、「火山都市国際会議島原大会キャラバン隊」として当地で開催される「火山市民ネットフォーラム」に参加し、関係住民や全国の防災関係者等と火山防災や復興問題等について意見交換を行うとともに、2007 年島原市で開催される火山都市国際会議を PR して、島原大会への積極的な参加を呼びかける予定です。また、同キャラバン隊には、太田一也・九大名誉教授、安藤幽明・島原市議会議長も同行します。